

水通信



2023.10.30 第194号

「水通信」は、水資源機構（主に中部管内）における取組に関する情報を、中部管内の関係者（県、市町村、土地改良区その他関係機関）の皆様方に、直接配信させていただいております。

目 次

※目次の事業所名等クリックすると、その事業所等の記事に移動します。各記事の事業所名をクリックすると目次ページに戻ります。

☆ [【巻頭言】](#) 1 頁

○ 水源地に思うこと

中部支社事業部長 山本 政彦

☆ [【中部管内水源情報】](#) 3 頁

☆ [インタビュー『水を支えるスペシャリストに聞いてみた』](#) 4 頁

☆ 《新着情報》

[中部支社](#) 6 頁

○ 中部管内一斉による地震防災訓練を実施しました

○ 第29回東郷町町民レガッタ大会に参加しました

[豊川用水](#) 7 頁

○ 第12回大島ダム・ウォークを開催します

木曽川水系連絡導水路 8 頁

- 揖斐川上流水源地域の清掃・環境パトロール活動に参加しました
- 令和5年度 交通安全講習会を実施しました

愛知用水 9 頁

- 「愛知用水と水源の森」イベントに出展しました

木曽川用水 10 頁

- 木曽川用水上流部施設整備検討委員会幹事会を開催しました
- インターンシップ（就業体験実習生）を受け入れました

岩屋ダム 11 頁

- 地震防災訓練を行いました
- 交通安全講習会を行いました

阿木川ダム 13 頁

- 阿木川サマーフェスティバルが4年ぶりに開催されました
- 阿木川ダム貯蔵酒を追加搬入しました

徳山ダム 14 頁

- 徳山ダムで一般参加のSUP体験を実施しました
- 徳山ダム上流のコア山にて苗木のホームステイ・植樹活動を行いました
- 『里山探検隊』が徳山ダムを見学しました

長良川河口堰 17 頁

- 第28回デ・レーケ記念交流レガッタに参加しました
- テロ対策合同訓練を実施しました

味噌川ダム 18 頁

- 地震防災訓練を実施しました
- ダム堤体に架かる二重の虹

三重用水 20 頁

- 加佐登調整池、宮川調整池のダムカード新規作成しました
- インターンシップを受け入れました

☆ 【編集後記】 22 頁

- 担当課 中部支社 総務部利水者サービス課

巻頭言

○ 水源地に思うこと

中部支社事業部長 山本 政彦

10月18日（水）、愛知用水事業推進協議会主催の植樹祭に参加しました。当日は雲一つない晴天の下、愛知用水土地改良区の戸田副理事長はじめ、木曽町原町長、王滝村越原村長のほか、受益市町、水道・工業の受水団体、愛知県、木曽森林組合の多数の方々（約60名）の参加により行われました。

今回の植樹祭に参加するにあたり、これまでの愛知用水の水源地域との関わりについて、再確認してみました。

平成3年7月31日、愛知用水通水30年を記念した「愛知用水サミット」が開催されました。さらに20年が経過した平成23年9月30日には、通水50周年の記念式典が開催され、ともに水源地に対する感謝と村の発展に寄与（30周年）、水源地への感謝と共生（50周年）が確認されました。

特に、通水30周年の愛知用水サミットでは、水源地と受益地の市町村長により意見交換が行われ、王滝村長からは「牧尾ダムの建設によって村の全人口の約15%にあたる507名が離村、その後も人口は減少。村の主産業である林業も労働力不足、高齢化などにより、森林管理が困難な状況となっています。通水30周年をきっかけに涵養林の造成、ダム周辺の景観整備など水源地が抱える様々な問題について対応策を考えてほしい。」と発表されました。受益市町の各首長からは水源地に対する感謝と関わり方について発表があり、最終的に「愛知用水サミット宣言」が確認されました。読者の皆様におかれましては、今一度、この宣言を確認して頂きたい。



■愛知用水事業推進協議会植樹祭

「愛知用水サミット宣言」

私たちは、愛知用水の水源村と受益市町といった立場の違いを超え、21世紀に向けて、限りある貴重な水の確保とこれからの愛知用水のあるべき姿について、今後引き続き、対話と協調の道を歩む必要性を認識し、この愛知用水サミットにおいて、次のとおり宣言する。

- 一 私たちは、愛知用水のいのちの水がめである牧尾ダム美しい姿を後世に残すため、牧尾ダム周辺の景観整備とダムを潤す水源涵養林の保護、育成に努めていきます。
- 二 受益市町は、牧尾ダムの建設と管理に協力いただいていた、王滝・三岳両村の方々に感謝し、人と人との交流の拡大等を通じて、両村の一層の発展に寄与していきます。
- 三 受益市町は、水の有効利用や水質の保全に努めるとともに、住民に対して、これら水に関する広報、啓発活動をより一層活発に行っていきます。

平成3年7月31日

愛知用水サミットから33年が経過した本年4月、長年にわたり水源地の涵養林育成のための植樹祭・育樹祭等の森林整備活動を行ってきた愛知用水土地改良区は、天皇・皇后両陛下ご臨席の下「緑化推進運動功労者総理大臣表彰」を受賞されました。多年にわたる森林整備活動を通じて愛知用水地域の上下流交流並びに緑化意識の醸成に貢献された愛知用水土地改良区に改めて感謝と敬意を表します。

今回は、愛知用水における水源地への取り組みや活動について紹介しましたが、これは愛

知用水に限ることではなく、どの水源地でも同じであり、この活動や精神は全ての水源地に当てはまることと思います。

これから水源地の山々では紅葉が見頃を迎えるとともに、雪が降ればウィンタースポーツのシーズンとなります。まずは水源地に出かけ、各地域を見て楽しんで、水源地のすばらしい魅力を発見してみましょう。



■牧尾ダム全景

中部管内水源情報

【中部管内水源情報】

中部管内の各ダムにおける10月27日現在の降雨及び利水貯水率については、下表のとおりとなっています。

木曽川水系の4ダム（牧尾・岩屋・阿木川・味噌川ダム）の10月降雨量は平年を下回る状況（平年比63%～107%）となっており、4ダム合計の貯水率は86%（平年比98%）と、平年を下回る貯水状況となっています。

豊川水系の宇連ダム及び大島ダムの10月降雨量は、平年を下回る状況（平年比80%～89%）となっており、豊川用水全体（宇連・大島ダム、各調整池）の貯水率は74%（平年比85%）と平年を下回る貯水状況となっています。

中部管内各ダムにおける10月の降雨及び利水貯水率（10月27日現在） 単位：（%）

	牧尾ダム	阿木川ダム	味噌川ダム	岩屋ダム	宇連ダム	大島ダム	中里ダム	徳山ダム
降雨の平年比	107	71	84	63	80	89	53	52
利水貯水率	75.5	84.4	82.5	98.8	63.3	79.6	81.7	100
（平年比）	(99.9)	(89.4)	(85.0)	(106.4)	(76.6)	(83.3)	(105.8)	(100)

- ・中部支社管内の各ダム貯水状況等は中部支社HP内の「水源情報」でご覧いただけます。

中部支社HP <https://www.water.go.jp/chubu/chubu/index.html>

「水源情報コーナー」

◆リアルタイム情報 <https://www.water.go.jp/mizu/chubu/realtime/index.html>

◆中部管内の水源状況（平日更新） <https://www.water.go.jp/mizu/chubu/report/>

◆ダム貯水状況グラフ、節水情報など

https://www.water.go.jp/chubu/chubu/sessuijyohou05_1.html

インタビュー『水を支えるスペシャリストに聞いてみた』

中部支社メールマガジン水通信では、令和3年より新たなコミュニケーションツールとして、水資源開発施設の建設・管理に携わる「人」に焦点を当て、それぞれのスペシャリストにインタビューを行う『水を支えるスペシャリストに聞いてみた』を掲載しています。

今回は、味噌川ダム管理業務に携わる小林さんに、これまでの経験や業務内容などについてお話を伺いました。



<profile>

小林 克巳 Katsumi Kobayashi

株式会社アイ・ディー・エー 名古屋事業部

(味噌川ダム管理所 勤務)

平成23年 株式会社アイ・ディー・エー入社

平成27年 水資源機構 味噌川ダム管理所

管理技術業務、現在に至る

■ダム湖をバックにて

小林さんは現在、味噌川ダム管理所において現場技術業務に従事されていますが、具体的にどのような業務をなさっているのですか。

一原石山跡地法面の観測データ整理、工事等の設計積算資料の作成や監督補助、防災時の下流巡視等の防災業務の補助、低水管理における貯水池運用表や管理日誌の整理、機械設備の点検補助等の業務を行っています。

土木業界へ携わることになったきっかけを教えてください。

一高校時代に測量を学んでいて測量会社に就職をしました。その後、友達に誘われ現場技術業務に従事したことが土木業界に携わるきっかけです。

土木業界の中でも、ダム管理業務に携わることになったきっかけなどありますか。

一現場技術業務の最初は道路関係の業務でしたが、次にダムの建設工事関係の業務に従事しました。そのダム建設が味噌川ダムの建設工事でした。その後、他の事務所で現場技術業務を行って来ましたが、建設工事が少なくなり管理に対する業務に変わってきました。その中で味噌川ダム管理所のダム管理業務に携わることとなりました。

味噌川ダム管理所にはこれまで複数回と長く業務に従事されていますが、その中で特に印象に残っている出来事などについて教えてください。

一大雨で防災業務になった時のことです。放流開始前に下流河川巡視に行ったのですが大雨で視界が悪く雨音で周りの音が全然聞こえない状態でした。放流開始時間が決まっていたゆ

っくりも出来ないし慌てて危険があるといけないし、大雨で河川の流量も多く周りの状態もわかり難く怖いなと思ったことが一番の印象が強かったです。

味噌川ダム管理所の地元である木祖村もしくはダム下流に位置する木曽町にはこれまで業務上訪れる機会が多かったと存じますが、もし木曽地域の中でオススメの観光スポットや一押しグルメなどがあれば教えてください。

一観光スポットは木祖村ではこだまの森・やぶはら高原スキー場のレジャー施設があり一日中楽しめます。木曽町では御嶽山・開田高原の自然のレジャーがあり、また中山道の古い町並みも良いと思います。グルメでは蕎麦が美味しいです。国道沿いに蕎麦屋さんが何軒かありますが何処で食べても美味しいと思います。



■堤体洪水吐をバックにて

月並みではございますが、小林さんにとってストレス解消で普段行っていることはありますか。

一余りストレスは感じてないですが、気の合う人でお酒を飲みに行くことはストレスの解消になります。休日には家庭菜園で汗を流し日頃の運動不足の解消をしています。

最後になりましたが、業務に従事するにあたって今後の抱負などがあれば教えてください。

一これからは気候変動が激しく大雨が降ったり渇水になったりダム管理が大変だと思います。現場技術業務員として防災時等に少しでも役に立てれば良いと思っています。

お忙しい中インタビューにご回答いただき、ありがとうございました。

小林さんには防災業務時の巡視や機械設備の点検補助等多種多様な業務に携わっていただき、職員一同、大変頼りになっております。また、気の合う方との飲み会や休日に家庭菜園を楽しむといったオフの時間も充実されている所に好感が持てました。これからも引き続き共に明るく楽しく仕事をしてまいりましょう。よろしくお願いします。

〈あとがき〉

水資源機構中部支社では、水の安定供給を支える「人」に焦点を当てたインタビューコーナーを今後も特集として掲載していきます。インタビューに応えていただける方を募集しておりますので、ご協力の程よろしくお願い致します。

《新着情報》

中部支社

○ 中部管内一斉による地震防災訓練を実施しました

9月1日（金）、中部支社と管内各事業所が連携し、大規模地震を想定した管内一斉地震防災訓練を実施しました。

訓練は、南海トラフ地震が発生したことを想定（発災型）し、初動態勢の確立、情報収集・情報伝達及び応急対策等の訓練を行うものであり、これにより地震発生時における防災業務の円滑かつ適切な遂行に資するとともに、職員の地震に対する防災意識・対応能力の向上を図ることを目的として、毎年実施しています。

午前9時の地震発生を想定し、①安否確認訓練、②シェイクアウト訓練、③管内一斉情報伝達訓練（各事業所からの施設点検報告等）、④災害発生時初動対応訓練（WEB会議システム等を活用）、⑤関係機関との情報伝達訓練等を実施しました。

中部支社では、地震防災訓練を通じて得られた防災対応能力を活かし、実際の地震発生時に適切な対応が行えるよう努めてまいります。



■ 防災本部の訓練状況

○ 第29回東郷町町民レガッタ大会に参加しました

9月17日（日）に第29回東郷町町民レガッタ大会が開催されました。この大会は、平成6年に国民体育大会の漕艇競技が東郷町にある愛知用水の愛知池で開催されたことを契機に、毎年愛知池漕艇場で開催されています。

今年は、3年ぶりに町民以外の参加が認められたことから、中部支社から精鋭を集めた2チームが出場しました。

当日は好天に恵まれましたが、風が強く、艇の舵取りに大変苦労しました。

中部支社チームは両チームとも、惜しくも残念ながら予選で敗退し、敗者復活戦も勝ち進むことは出来ませんでした。しかし、予選より敗者復活戦では中部支社の両チームは、眠っていた獅子が目覚めたように一丸となって必死にオールを漕ぎ、チームの息も合ったせいか好タイムが出ました。



■ 参加した中部支社の陽気な2チーム

A team of five rowers, all wearing blue shirts and blue caps, are seen from behind as they row a white boat on a body of water. The boat has the number '4' on its stern. In the background, there is a large white building with multiple windows and a tall antenna, surrounded by lush green trees. The sky is blue with some clouds.



豊川用水総合事業部

令和5年11月5日(日) 第12回 大島ダム・ウォークを開催します

大島ダム・ウォークの開催日 令和5年11月5日

詳細はこちら <https://www.water.go.jp/chubu/toyokawa/damwalk/indexR5.html>

第12回 大島ダムウォーク

**2023年
11/5 日**

ウォーキングコース 大島ダムをぐるりと歩くコースです。

ファミリーコース (約6.3km)

距離	約6.3km
所要時間	約2時間
コース	大島ダム上流側から下流側まで

健脚コース (約9.3km)

距離	約9.3km
所要時間	約2時間30分
コース	大島ダム上流側から下流側まで

コースマップ

ファミリーコース (スタート～ゴール)

- スタート (大島ダム上流側)
- ゴール (大島ダム下流側)
- 所要時間: 約2時間
- コース: 大島ダム上流側から下流側まで

健脚コース (スタート～ゴール)

- スタート (大島ダム上流側)
- ゴール (大島ダム下流側)
- 所要時間: 約2時間30分
- コース: 大島ダム上流側から下流側まで

ウォーキングコース

ファミリーコース (約6.3km) 健脚コース (約9.3km)

所要時間: 約2時間 約2時間30分

コース: 大島ダム上流側から下流側まで

所要時間: 約2時間 約2時間30分

コース: 大島ダム上流側から下流側まで

コースマップ

大島ダム上流側から下流側まで

所要時間: 約2時間 約2時間30分

コース: 大島ダム上流側から下流側まで

木曽川水系連絡導水路建設所

○ 揖斐川上流水源地域の清掃・環境パトロール活動に参加しました

9月16日（土）、木曽川水系連絡導水路建設所はNPO法人揖斐自然環境レンジャー・揖斐川上流漁業協同組合・揖斐川町（生命の水と森の活動センター）の3者主催の「揖斐川上流水源地域の清掃・環境パトロール活動」に参加しました。

この活動は、水源地域の環境保全の重要性が増しているなか、豊かな自然環境を「みんなで守り育てる」ため、揖斐川上流水源地域の登山道、河川やその周辺において、清掃、パトロールを行っていくという趣旨で行われているものです。

当建設所からは職員3名が参加し、朝9時半から2時間ほど、川沿いの登山道を上流に向かって歩き、ゴミ拾いを行ってきました。当日は晴天となり、残暑が厳しい状況でしたが、沢山のゴミを見つけることができ、最後に集めたゴミをまとめた時には、主催者の方々とともにさわやかな達成感を得ることができました。



■参加した徳山ダム管理所職員との集合写真

○ 令和5年度 交通安全講習会を実施しました

10月12日（木）、木曽川水系連絡導水路建設所では、揖斐警察署交通課の方を講師にお招きし、令和5年度の交通安全講習会を実施しました。当日は積極的な質疑応答が見られるなど活発なやりとりが行われました。

昨今は、自転車事故の増加やあおり運転といったことも問題となっている中であるため、所内職員一同、気を引き締めて安全運転を行っていく所存です。



■交通安全講習会の様子

愛知用水総合管理所

○ 「愛知用水と水源の森」 イベントに出展しました

10月7日（土）に開催された「愛知用水と水源の森」に出展しました。このイベントは、愛知用水や水源地である長野県木曽郡木曽町・王滝村をPRすることで「愛知用水」や「水源涵養林」の重要性について認識していただくことを目的として、愛知用水土地改良区が主催し、愛知県大府市のJAあぐりタウン「げんきの郷」を会場に開催されました。

オープニングは、水源地のマスコット・キャラクター（王滝村の「クリピー」、木曽町の「うめみちゃん」、（財）愛知・豊川用水振興協会の「水の妖精アイちゃん」）も登場し、来賓の皆さんによるテープカットでイベントがスタートしました。

会場では、愛知用水土地改良区による紙芝居を使用した青空教室の出前授業、木工教室、どんぐりの棒パン焼き、パネル展が行われ、水源地からは木曽町及び王滝村による町村のPR、水源地域の木材を利用した射的、愛知県知多農林水産事務所などによる事業紹介が行われました。

愛知用水総合管理所は愛知用水の水源「牧尾ダム」の流木配付やパネル展示及びアンケートを実施しました。

“どこの流木？”、“牧尾ダムはどこにあるの？”といった質問も多くいただくことから、今回はダムに流木がたくさん流れ着くことや牧尾ダムの場所を説明するパネルを新たに作成して臨みました。

イベントは、天候にも恵まれ多くの人に訪れていただきPRを行うことができました。特に流木の配付は好評で、多くの方にお持ち帰りいただきました。



■ パネル展示ブースの様子



■ 開会式の様子 キャラクターは
左：アイちゃん、中：うめみちゃん
右：クリピー



木曽川用水総合管理所

○ 木曽川用水上流部施設整備検討委員会幹事会を開催しました

7月5日（水）、関係者間の緊密な連絡調整を目的とした「木曽川用水上流部施設整備検討委員会幹事会」を開催しました。

本幹事会の開催は、木曽川右岸緊急改築事業が完了した令和2年度の開催以降、約2年半ぶりの開催となります。

当日の会議には、関係利水者の方々等26名が参加され、木曽川右岸施設における施設の現状を主な議題として、トンネル未調査区間、揚水機場及び未改築施設（管路）における現状等を説明し、今後の効率的な更新整備のあり方について議論を行いました。

幹事会については、今後年1回程度開催していく考えであり、受益地域を含め木曽川右岸施設のより良い将来の実現に向けて、木曽川用水総合管理所は、中部支社と連携して精力的に検討を進めていきます。



■ 幹事会の様子（美濃加茂市総合福祉会館：すこやかタウン美濃加茂）

○ インターンシップ（就業体験実習生）を受け入れました

木曽川用水総合管理所では、令和5年度のインターンシップとして、8月14日（月）～18日（金）の1週間、三重大学から2名の実習生を受け入れました。

実習では、木曽川用水濃尾第二施設に関する木曽川大堰の操作や、予備発電設備などの電気通信設備とゲート設備などの機械設備の点検及び水源施設である岩屋ダム施設の点検などを体験しました。

また、海部土地改良区の「水の館」では、濃尾第二地区の農業及び木曽川用水事業が現在に至るまでの経緯の説明を受けました。

最終日には、実習の集大成として1週間の成果を取りまとめ、実習成果や体験で得た感想などを職員の前で発表しました。

今回の実習は、1週間と短くさらに台風の影響で実質4日間と濃密なカリキュラムで実施しましたが、非常に真面目に取り組んでいただき、学生にとっても有意義な経験になったのではないかと思います。

また、8月17日（木）には徳山ダムのインターンシップ2名、8月24日（木）には長良川河口堰のインターンシップ1名、8月23日（水）と9月13日（水）には中部支社インターンシップ各1名の受け入れを行い、計7名の学生に木曽川用水事業の役割を学んで頂きました。



■「水の館」での説明の様子



■岩屋ダムの施設点検

岩屋ダム管理所

○ 地震防災訓練を行いました

9月1日（金）、職員の地震に関する防災意識、対応能力向上を目的とした防災訓練を実施しました。

大規模な地震発生を想定した訓練では、はじめにダムの堤体や設備等に異常が発生していないか迅速に点検を実施し、初動態勢の確立後は非常時でも円滑な情報伝達ができるよう連絡系統の確認を行いました。

また、通常の電話網が使用できない場合に備え、非常時の連絡手段として衛星携帯電話の通話訓練を行ったほか、防災器具の状態や備蓄品の在庫を確認しました。



■堤体点検の様子



■訓練時の様子

今後も定期的な訓練を実施し、いつ地震が発生しても確実な対応がとれるよう職員一同努めて参ります。

○ 交通安全講習会を行いました

9月27日（水）、下呂警察署交通安全課の方を講師としてお招きし、職員の交通安全に対する意識向上を目的とした交通安全講習会を実施しました。

講習会では映像資料において、ながら運転や酒気帯び運転等の交通違反をした際に発生する事故の悲惨さを再確認し、また、岩屋ダム周辺地域で発生する交通事故の種類や時間帯等を記録した統計データを通して、職員一人一人が普段の運転を見つめ直しました。

岩屋ダムでは、これからも毎日の車両点検や運転手のアルコールチェックを徹底し、職員の安全運転に対する意識が常に高く保たれるよう、定期的に交通安全に関する研修を行って参ります。



■講習会の様子



アインシュタイン

ブレイクタイム 名言、格言

【 アインシュタイン 】

・異性に心を奪われることは、大きな喜びであり、必要不可欠なことです。しかし、それが人生の中心事になってはいけません。もしそうなったら、人は道を見失ってしまうでしょう。

阿木川ダム管理所

○ 阿木川サマーフェスティバルが4年ぶりに開催されました

8月19日(土)に、ダム入り口広場を中心として「ココロうるおす水と緑と歴史のパティオ推進協議会」が主催し、阿木川ダムを活かして水源地域の活性化を図るべく、関係自治体、住民等とダム管理所が一体となり、地域物産の販売のほか、パトカー・白バイ・消防車・カヤックの展示、体験型として湖上巡視体験・ダム堤体内体験・さかなの放流体験を行いました。



■ マスコット「ミナモ」 と放流体験

イベントのオープニングは、

■ オープニングの安岐太鼓

勇壮な「安岐太鼓」の演奏でスタートし、今回初めて岐阜県のマスコットキャラクターの「ミナモ」を招き、触れあってもらいました。

当日は、夏休み期間中ということもあり遠方からの来場者や家族連れが約300名ご来場いただき各種イベントを楽しみに参加してくださいました。

イベントの最後に、この地域で古くからおめでたい時に行われる「餅投げ」が行われ、暑い1日のイベントを締めくくりました。

阿木川ダムとしては、次年度以降も多くの方々に参加いただき、地域の活性化に協同してまいります。



■ 地元特産品等の販売ブース



■ 湖上の巡視体験

○ 阿木川ダム貯蔵酒を追加搬入しました

9月15日（金）に、恵那市及び中津川市の酒造会社5蔵により、各蔵156本の日本酒が阿木川ダム堤体内に追加搬入されました。

この取組は水源地域ビジョンの一環として、新たな特産品として地域の発展に繋げるための取組で、お酒の貯蔵に適したダム内で熟成させるため、昨年より開始し既に熟成中の300本と併せて、今回追加搬入された156本を加えて、現在各蔵456本の日本酒が阿木川ダム内に貯蔵されました。これらの貯蔵されています日本酒は、今後随時販売される予定です。

当日は、酒造会社の発展を支援している名古屋国税局岐阜北税務署の職員も立ち会われ、地元報道機関（中日新聞恵那通信局）にも取材を頂きました。

引き続き阿木川ダムは、ダム貯蔵酒を通じて地域活性化に協力してまいります。



■追加した日本酒を手に記念写真



■ダム内で貯蔵する追加の日本酒

徳山ダム管理所

○ 徳山ダムで一般参加のSUP体験を実施しました。

8月19日（日）、徳山ダムのダム湖（徳山湖）で一般参加の^{サップ}SUP（スタンドアップパドル）体験を初めて実施しました。この事業は、アウトドア事業専門業者さんと揖斐川町さんにより企画・運営が行われました。

最近SUPの認知度が上がってきたこともあってか、2回実施で約60名という当初の予定より多数の方に参加いただき、初心者から経験者まで、インストラクターさんによる丁寧なレッスンにより、静かなダム湖をすいすいと漕いで楽しんでいただきました。

「曲がるのにコツがいるから、難しくて楽しい」などの感想を聞きました。参加者のみなさまには、日本一の総貯水容量を誇る徳山湖の魅力を満喫いただけたのではないかと思います。



■ SUP 体験の様子

○ 徳山ダム上流のコア山にて苗木のホームステイ・植樹活動を行いました

揖斐川町（生命の水と森の活動センター）・NPO法人揖斐自然環境レンジャーの主催で、徳山ダム上流のコア山（ダムを造るための材料を採取した山）において、地元揖斐川町立北和中学校の生徒（9月15日（金））と揖斐小学校・北方小学校の児童（9月27日（水））が苗木のホームステイ（植樹活動）を行いました。

春に小中学校に預けていたクリ、ブナ、コナラ、ミズナラなどの小苗は、約半年間各校庭で大切に育て立派に成長していました。



■ 中学生の植樹の様子



■ 小学生の植樹の様子

植樹前に徳山会館で職員によるコア山の説明を聞いてから、連絡船「とくまる」に乗ってコア山へ向かい、2人1組で力を合わせて苗を植えるための植穴を掘り、苗を入れ土と肥料を戻して、苗の横に獣からの食害防止カバーをつけて、最後に固形肥料を与えて植樹完成です。

この活動は、小中学生に苗木の育成方法、森林と水、野生動物との関わりなど、水源地域の自然環境保全の必要性を理解してもらうために、平成21年度から実施しており、今年で23回目となります。動植物の生息生育環境を保全するための、徳山ダム管理所での大切な活動の一つです。

○ 『里山探検隊』が徳山ダムを見学しました

10月13日（金）、国土交通省中部地方整備局越美山系砂防事務所が募集した『令和5年里山探検隊』に応募された16名が徳山ダムを見学しました。

『里山探検隊』は、揖斐川の上流域山間部で生活されている人々の暮らしや文化に直接触れると共に、その交流を通じて山と水との関わりや水源地保全及び防災の大切さを理解して、学ぶ場として活動するものです。

徳山ダムの連絡船「とくまる」の船内では、職員による徳山ダムの役割や周辺の環境、徳山ダムの防災の役割などについて説明を行い、水資源機構と徳山ダムのPR活動に努めました。

徳山ダムの他には、横山ダムや土砂をせき止める砂防堰堤の見学もされて、実際に防災に活躍している現場を目にしてたくさん学んでいただきました。お昼は徳山会館でダムカレーを食べて、山と川で充実した1日を過ごしていただけたのではないのでしょうか。



■徳山ダムの説明の様子



■貯水池横断橋「徳之山八徳橋」を下から



長良川河口堰管理所

○ 第28回デ・レーケ記念交流レガッタに参加しました

9月10日（日）に、開催された「第28回デ・レーケ記念交流レガッタ」に長良川河口堰メンバーが参加しました。

当日は晴天に恵まれレガッタ日和でしたが、長良川河口堰チームは残念ながら予選突破ならず……。上位チームの息の合った推進力に脱帽でしたが、長良川河口堰チームの動きがかみ合ったときの気持ちよさは最高。

次回は予選突破を目指し、練習を頑張ります。



■スタート前の河口堰チーム



■チーム一丸となり頑張りました

○ テロ対策合同訓練を実施しました

9月22日（金）に、三重県桑名警察署、桑名市消防本部、長良川河口堰管理所との「テロ対策合同訓練」を実施しました。

テロ対策合同訓練は、テロ対策桑名パートナーシップの一環として、河口堰の立入禁止水域への不審船侵入を想定し、警察による陸上・水上での犯人捕捉、消防による不審船の消火活動を行いました。

長良川河口堰では、いつ発生するかわからない災害等に対して、関係機関及び中部支社とも連携し、今後も訓練を継続していきます。



■警察による不審者捕捉



■消防による消火活動

味噌川ダム管理所

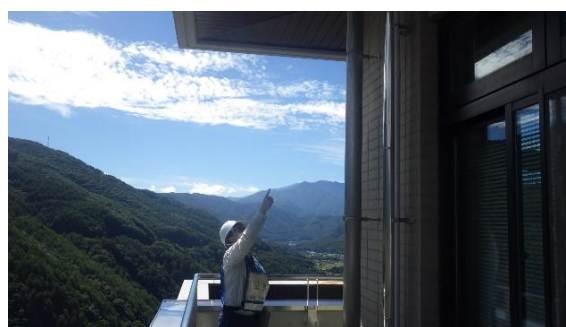
○ 地震防災訓練を実施しました

9月1日（金）、味噌川ダム管理所では中部支社と連携し、大地震が発生した時を想定して、初動態勢の確立、情報収集・情報伝達及び現場の応急対策等の地震防災訓練を実施しました。

この日は、未曾有の大災害「関東大震災」が起きた日からちょうど100年の節目の日。またいつ来るか分からない地震災害に備えて、職員一同常日頃より気を引き締めて業務に当たり、いざという時にはできるだけダム施設への被害が最小限に留められるよう、準備して参ります。



■ 訓練の様子



■ 現地での目視点検訓練

○ ダム堤体に架かる二重の虹

10月5日（木）、突然のにか雨が影響してか、味噌川ダム堤体に約2年ぶりに虹が姿を現しました。しかもはっきりと見える虹の外側に、かなりうっすらとですが、もう一つの虹も見えます。

この現象を「ダブルレインボー」といい、「吉兆のしるし」とも言われる大変珍しい気象現象だそうです。

次回はいつ現れるのか、楽しみです！



ブレイクタイム 四字熟語

【 歳寒松柏 】(さいかんしょうはく)

・寒い季節に耐える松や柏（かしわ）という意味で、転じて、逆境や困難にあっても意思や志を失わず、貫き通すこと。

三重用水管理所

○ 加佐登調整池、宮川調整池のダムカード新規作成しました

三重用水管理所では8月7日（月）より、新たに加佐登調整池、宮川調整池のダムカードの配布を開始しました。今回は三重用水の管理開始30年を記念して、宮川調整池と加佐登調整池のダムカードを作成しました。これで三重用水管理所が管理する5施設のダムカードがそろいました。是非、この5枚のダムカードを集めに各施設を訪れてみてください。

※新たな2枚のダムカードはそれぞれ、鈴鹿フラワーパーク（加佐登調整池）、三重県民の森（宮川調整池）で受け取ることが出来ます。



■ 5枚のダムカード

詳細はこちら

https://www.water.go.jp/chubu/mieyosui/keiji_ban/20230803_kisyahappyou.pdf

○ インターンシップを受け入れました

三重用水管理所では8月28日（月）から9月8日（金）の2週間、三重大学からインターンシップ1名を受け入れ、職員が日頃行っている各施設の点検、水質調査、配水、防災訓練などの業務体験をしました。また、三重用水管理所が管理する施設だけでなく徳山ダム、長良川河口堰の見学も行い、幅広く水資源機構の業務を学んで頂くことができたと思います。今回はインターンシップ生へのインタビューを紹介いたします。

・インターンシップに来る前の印象と実際に来て感じたことは何ですか？

—来る前まではダムの管理など水に関する仕事が多いと思っていましたが、実際に業務体験をして、水路、道路、土地など幅広い分野のものを維持管理していることがわかりました。

・今回のインターンシップの中で一番印象に残ったことは何ですか？

—溪流取水工や5つのダム、幹線水路など普段入れない施設の見学が出来たことです。実際にどう水が届けられているかを間近で見ることができました。また、予備発電機の点検なども貴重な体験となりました。

・ダム、河口堰、水路の見学に行きましたが、どこに1番興味を持ちましたか？また各施設の印象や感想があれば教えてください。

―長良川河口堰です。建設時に反対があったことも影響して、特に環境に配慮して造られていることに興味を持ちました。ダム、水路とは異なり、海水と面するところであるため、塩水の処理、魚の遡上など他にはない点にも気がつかっていることが興味深かったです。

徳山ダムは堤体内の監査廊など普段目にするのことがない場所まで見学できた点が印象に残っています。

・業務を実際に行って大変だったことは何ですか？

―草刈り、堤体の観測、漏水の対応など外での作業があり、体力が必要な仕事だと感じました。ただ、私は体を動かすのが好きなので、内業だけでなく外での作業があるのは良いなと感じました。

・今回知ることができて、見られて良かった点があれば教えてください。

―管理班、財産管理班、設備班、総務班のそれぞれの仕事を知ることが出来て良かったです。また、社内の雰囲気も見ることができて良かったです。

・最後に感想をお願いします。

―2週間のインターンシップを通して、施設管理では各班に役割があり、施設を守っていくという同じ目的を持って仕事をされていることを強く感じました。そのため、多角的な視点を持ち、自分の目標へ進んでいこうと思いました。

インタビューにお答え頂き、ありがとうございました。



■地震防災訓練に参加した様子



■水質調査体験

編集後記

【担当課：中部支社 総務部利水者サービス課】

今年の夏は、過去最高を上回る猛暑でしたが、10月になり朝晩はようやく涼しく、過ごしやすくなり、少しは外出でもしようかという気候となって参りました。

去る9月29日（金）、滞在時間は4時間程度ではありましたが京都に行き、平安神宮の境内から「中秋の名月」を鑑賞するという機会を得ました。この日は雲一つない晴天の下で満月を鑑賞することができ、また半袖では少し肌寒いくらいの気候であったことも相まって、幻想的な素晴らしい雰囲気でもあり、貴重な経験となりました。

なお、「中秋の名月」は太陰太陽暦の8月15日の夜に見える月のことを指し、それゆえ「十五夜の月」という言い方をしたりもしますが、「中秋の名月」は太陰太陽暦の日付（新月からの日数）で決まる一方で、満月（望）は、太陽、地球、月の位置関係で決まるため、必ずしも同じ日にはならないということを初めて知りました。今年の「中秋の名月」は満月と重なっていたことからきれいな満月を鑑賞できたのですが、次に「中秋の名月」と満月が重なるのは7年後とのことで、この2つが重なるというチャンスはそれほど多いというわけでもなさそうです。

私も来年には50歳を迎える年齢となりましたが、初めて知ることは多いものですね。中秋の名月と満月の関係について、詳しいことは国立天文台のウェブサイトに載っておりますので、ご関心のある方は見ていただければと思います。



<https://eco.mtk.nao.ac.jp/koyomi/wiki/C3E6BDA9A4CECCBEB7EEA4C8A4CF2FCCBEB7EEC9ACA4BAA4B7A4E2CBFEB7EEA4CAA4E9A4BA.html>



ブレイクタイム ことわざ

【 麻中の蓬（よもぎ） 】（まちゅうのよもぎ）

・人間はよい環境の中で育ち、よい教育を受け、よい人と出会えば、決してねじ曲がることなく、まっすぐで正しい人間になるということのたとえ



今月の水通信はいかがでしたでしょうか。

「水通信」に対して、ご要望、ご意見等がございましたら、下記アドレスまでご連絡ください。

[mailto: chubu_water@water.go.jp](mailto:chubu_water@water.go.jp)

『第195号は、12月下旬に発行する予定です。』
バックナンバーをご覧になりたい方はこちら

<https://www.water.go.jp/chubu/chubu/mizutsuushin/mizutsuushin.html>



☆中部管内事業所のホームページアドレスは、以下のとおりです

中部支社：	https://www.water.go.jp/chubu/chubu/
豊川用水総合事業部：	https://www.water.go.jp/chubu/toyokawa/
木曽川水系連絡導水路建設所：	https://www.water.go.jp/chubu/kisodo/
愛知用水総合管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/aityosui/
木曽川用水総合管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/kisogawa/
岩屋ダム管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/iwaya/
阿木川ダム管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/agigawa/
徳山ダム管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/tokuyama/
長良川河口堰管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/nagara/
味噌川ダム管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/misogawa/
三重用水管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/mieyosui/

発行者：水資源機構中部支社